

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月21日

計画の名称	浜名湖観光圏の快適で魅力ある観光地づくり											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	浜松市											
計画の目標	<p>【大目標】 観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在を促進させる</p> <p>目標1：観光拠点の魅力と安全性を高め快適に過ごせる観光地づくり</p> <p>目標2：多様な移動方法に対応した案内による、移動アクセスの利便性、回遊性の高い観光地づくり</p> <p>目標3：施設のUD化を進め利用者にやさしい観光地づくり</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,771	A	1,771	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29	H33	H35
1	館山寺地区の滞在宿泊者数の増加 館山寺地区の滞在宿泊者数の増加 浜名湖観光圏の主たる滞在促進地区における年間宿泊者数	460千人	千人	480千人
2	浜松総合公園来園者の満足度の向上 浜松総合公園来園者の満足度の向上 来園者アンケート(5点評価)による満足度	40点/10	点/10	45点/10
3	浜名湖サイクリングロード利用者数の増加 浜名湖サイクリングロード利用者数の増加 観測を設定しサイクリングロード利用者を調査	39400人	人	41300人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> ・実施主体：都市整備部 都市計画課 ・評価に係る審議：「浜松市公共事業評価実施要綱」に基づき、浜松市都市整備部公共事業評価審査会にて審議。 	令和6年2月21日
	公表の方法
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により大幅に減少したが、浜松総合公園の施設整備により地区の魅力が向上されるとともに、浜名湖サイクリングロードのサイン整備によりサイクリストの利便性・回遊性が向上したことで、舘山寺地区の滞在宿泊者数が回復傾向にある。 ・浜松総合公園における、勾配のある地形のバリアフリー化や、屋内施設、休憩施設等の整備により、来園者の満足度が向上している。 ・浜名湖サイクリングロードのサイン整備により、サイクリストの利便性・回遊性が向上し、サイクリングロード利用者数が増加している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・観光需要について、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により減少したが、事業の実施に伴う地区の魅力向上により回復するとともに、本地区の観光等を案内するホームページの閲覧件数が増加している。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・公園のUD化や既存施設の適切な維持管理・更新・改良により魅力を向上させる。 ・地域連携DMOや観光関係事業者との連携により観光誘客事業を展開させる。 ・湖西市と連携したサイクリスト受入環境の整備を継続させる。 ・湖西市と連携したサイクリングロードの走行環境を維持・改善させる。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	舘山寺地区の滞在宿泊者数		
	最終目標値	480千人	事業進捗により回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により大幅に減少した。
	最終実績値	233千人	
2	浜松総合公園来園者の満足度		
	最終目標値	45点/10	予定通りの事業進捗が図られた。
	最終実績値	46点/10	
3	浜名湖サイクリングロード利用者数		
	最終目標値	41300人	予定通りの事業進捗が図られた。
	最終実績値	41400人	